

日本味と匂学会誌「大会 Proceeding 集」原稿執筆要領（2021年7月1日改訂）

大会Proceeding集は日本味と匂学会から出版されます。提出された原稿は、日本味と匂学会誌編集委員会による内容確認を受けた後に掲載されます。Microsoft Wordで、以下の項目を良くお読みの上、原稿を作成して下さい。

(1) 演題番号確認とファイル名

JASTS大会ホームページのプログラムで、ご発表の演題番号を確認してください。原稿ファイルおよびチェックシートのファイル名は演題番号と第一著者のイニシャルを半角英数大文字で設定してください。（例：P001F0.docx：ファイル形式は.docxを推奨）

(2) 提出方法

日本味と匂学会誌編集委員会アップロードサイト（<http://jasts.com/upboard/>）からアップロードしてください。学会ホームページにリンクしています。うまくいかない場合は、日本味と匂学会編集委員会編集委員長あてメールにてご相談ください。

(3) 提出期限

大会ホームページなど大会事務局からの告知をご確認下さい。

(4) 原稿の長さ

図、表、写真を含めて2頁か4頁のいずれかを選択できます。奇数頁の場合は、受理していません。

(5) フォント（レイアウト見本参照）

題名	13.5ポイントのMS-ゴシック
著者名（氏名）	10.5ポイントのMS-明朝体とTimes New Roman
所属	9ポイントのMS-明朝体とTimes New Roman
見出し	10.5ポイントのMS-ゴシック
本文および文献	10.5ポイントのMS-明朝体とTimes New Roman
図および表の説明	9ポイントのMS-明朝体とTimes New Roman
脚注	10ポイントのTimes New Roman

特に「m」や「μ」など、正しく表記されているかご注意ください。

(6) ページ設定

A4用紙、余白2.0 cm（上下左右すべて）、和文フォント10.5ポイント1行45字、1頁44行に設定します。余白に図、表、写真および文字がはみでないようにご注意ください。

(7) 文体など

術語や物質名などは、日本語で書き、必要に応じてその言語を（ ）で示して下さい。生物名は、カタカナ書きの和名で著し、初出時にイタリックで学名を（ ）で示して下さい。数字は、原則として半角アラビア数字を用いて下さい（例：1つ、2～3時間、30個）。ただし、“一例”や“数十個”などの場合は、その限りではありません。

(8) 記述の順序

題名、著者名、所属、目的、方法、結果、考察、謝辞、文献の順に記述して下さい。ただし、1頁目にのみ、題名、著者名、所属、所在地、連絡先メールアドレス、Fax番号などを英文で記述した脚注を入れて下さい。

(9) 図および表の挿入（レイアウト見本参照）

試し印刷によって最終の状況を確認されることをお勧めします。

(10) 文献の書き方

1. 本文中の引用箇所は、引用順に1)、2)、3、4)、5-7)、……の通し番号を右肩につけて示して下さい。文献は、文末にまとめて記述して下さい。
2. 文献が雑誌の場合、著者名（著者全員、氏名の姓と名）、論文タイトル名、雑誌名（イタリック）、巻数（イタリック）、はじめのページ、おわりのページ、出版年の順に以下の例に従って記述して下さい。

1) 神崎亮平, 池田哲, 渋谷達明: 昆虫の嗅覚本能行動制御するフリップ・フロップ下行性介在ニューロンについて. 日本味と匂のシンポジウム論文集 26, 249-252 (1992)

2) 吉田正昭: 化粧品の中の「情感」. 心理学評論 25, 145-162 (1982)

3) Yamamoto T, Yuyama N and Kawamura Y: Cortical neurons responding to tactile, thermal and taste stimulations of the rat's tongue. *Brain Res* 221, 202-206 (1981)

4) Nakamura T and Gold GH: A cyclic nucleotide-gated conductance in olfactory receptor cilia. *Nature* 325, 442-444 (1987)

5) Sato K and Suzuki N: Whole-cell response characteristics of ciliated and microvillous olfactory receptor neurons to amino acids, pheromone candidates and urine in rainbow trout. *Chem Senses* 26, 1145-1156 (2001)

3. 文献が図書の場合、著者名（著者全員、氏名の姓と名）、論文タイトル名（章の見出し）、書名、編集者名、出版社、出版地、はじめのページ-おわりのページ（ppで始める）、出版年の順に以下の例に従って記述して下さい。

6) 柏柳誠, 栗原堅三: 嗅受容膜の性質とその分子生理. 匂いの科学(高木貞敬, 渋谷達明編), 朝倉書店, 東京, pp. 82-90 (1989)

7) Lancet D: Molecular components of olfactory reception and transduction. In Molecular Neurobiology of the Olfactory System (Margolis FL and Getchell TV eds), Plenum Press, New York and London, pp. 25-50 (1988)

(11) 脚注の注意点 (レイアウト見本参照)

1. 行間を11ポイントに指定する。
2. メールアドレスに「下線」を付けない。
3. 脚注区切り線は、半角アンダーバー “_” で中央まで。

(12) 動物、人を対象とする実験に対する遵守義務の記載について _

動物実験においては動物実験指針に基づき、所定の動物実験委員会の規定に則って行われたものであること、また人を対象とする実験においてはヘルシンキ宣言に則り、所属機関の倫理委員会などの委員会の承認を受けたものであること、被験者にはinformed consent を得ていること、などを方法に簡潔に記載して下さい。必要な場合には、編集委員会から被験者の同意書の提出を求めることがあります。 _

(13) 変更履歴は削除して下さい。

(14) 著作権に関わる注意点について

論文に既に公表された図表を使用すること、および、複数論文で同一の図表を使用することは認められません。本論文に掲載された図表を原著論文を含む他の著作物に使用する場合は本学会の承認を得なければなりません。その上で、総説等への引用にあたっては、必ず出典を明記してください。

(15) 日本味と匂学会誌「大会Proceeding集」および別刷の購入について

大会Proceeding集は、申込者（非学会員を含む）にのみ郵送されます。学会員全員に無料で郵送されるものではありませんのでご注意下さい。論文集および別刷を購入希望の方は、大会ホームページより購入申し込みを行い、料金をお支払い下さい。なお、当日受付もいたします。